真に地域の総合経済団体たるために

日本商工会議所
会頭　山口信夫

平成十七年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

私は、昨年十一月に会員各位のご推挙をいただき、引き続き日本商工会議所会頭の任を務めさせていただくことになりました。

さて、わが国の景気は回復基調にあるとはいえ、昨年後半のGDPなど一部の経済指標に停滞感がみられるのをはじめ、自然災害の影響や原油価格の高止まり、円高等、先行き不透明感を増しております。日商が毎月行っている早期景気観測（LOBO）調査でも、昨年十一月の全産業合計の業況DIは、四カ月連続で前月水準よりもマイナス幅が拡大しております。また、これまでの景気を牽引してきた輸出の伸びも鈍化しつつあり、米国や中国の海外景気についても、先行きを楽観できない状況にあります。

加えて、景気回復が地域経済や中小企業にあまねく及んでいるとは言えない中、すでに配偶者特別控除の廃止や消費税の免税点の引き下げ、年金保険料の引き上げなど、国民の実質負担は増加しつつあり、特に消費の落ち込みを大変懸念しております。そこで政府にお願いしたいことは、少し景気が持ち直したからといって、ブレーキをかけるようなことがあってはならないということであります。一度悪化した景気をたて直すためには、膨大な費用と時間を要することは自明の理であります。経済は、自然科学とは違って実験ややり直しは許されません。

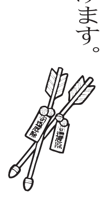
従って、ここ一〜二年は景気に最大の重点を置き、せっかく回復しつつある個人消費や企業活力を弱めるような政策には慎重を期していただくことを強く要望いたします。

我々商工会議所の大きな使命は、会員の大多数を占める中小企業の体質強化とその成長のための環境整備であることを、肝に銘じなければなりません。日本商工会議所としても、各地商工会議所との共催による創業塾や第二創業セミナーをはじめ、産学官連携のさらなる推進、次代を担うビジネスリーダーの積極的な発掘、中小企業の経営支援などに引き続き全力を挙げて取り組んでまいります。また、景気対策のほか、まちづくりや中小企業施策をはじめとする政策提言を引き続き強力に行い、その実現力を一層高めていく所存であります。

他方、三位一体改革など地方の構造改革も本格化する中で、各地商工会議所におかれましては、多様化する会員ニーズにこたえるため、その役割はますます重要となっております。そのため、たとえば地域に住む人が誇りをもてるようなまちづくりを率先して推進するなど、今後は幅広い視野で地域振興に取り組んでいただく必要があると存じます。

地域総合経済団体である我々商工会議所は、時代の大きな変革期にあたり、新しい時代にふさわしい希望に満ちた社会を築いていく中心的な存在にならなければなりません。そして「自助・自立の精神を旨とし、勇気と積極性をもって行動する」という決意を新たにしております。

以上、年頭にあたり所懐の一端を申し述べましたが、本年も、全国五二四の商工会議所、一五四万会員のネットワークをより強固なものにし、皆様と力を合わせ、魅力ある商工会議所づくりに励んでまいりたいと存じますので、一層のご支援、ご協力を心からお願い申し上げます。



県内経済の活性化に向け全力を

栃木県知事
福田富一

皆様、あけましておめでとうございます。

私は、これからの栃木県政を預かる重責を担うこととなり、改めて、その責任の重さを痛感し、身の引き締まる思いであります。ふるさと〝とちぎ〟に対する県民の皆様の熱い想いを心に刻みながら、新たな〝とちぎ〟づくりに全力を傾注する決意であります。

我が国は、今、これまでの成長を支えてきた社会経済システムの大きな転換期にあり、少子高齢化や地球規模での環境問題など、克服しなければならない多くの課題に直面しております。

また、三位一体の改革や市町村合併など、国と地方のあり方も大きく変化しようとしており、「自主・自立の地域づくり」という考え方のもと、各種の改革が進められております。

このような中で、自らの創意と工夫で個性を発揮し、真に豊かな地域を創り上げていくために、あらゆる人が立場を越えて協力し、新たな〝とちぎ〟づくりに参画する〝県民と協働する県政〟を構築して参りたいと考えております。

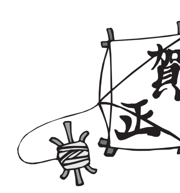
また、住民に最も身近な市町村が地域づくりの主役となる地方分権型社会を構築していくため、市町村への着実な権限委譲を図るとともに、市町村と緊密に連携していく〝市町村とともに歩む県政〟を推進して参ります。

こうした取組によって、対話と協調、改革を基本としたスピード感のある県民中心、市町村重視の県政を推進し、県民誰もが夢を持ち、市町村が真に輝く〝元気で活力あるとちぎ〟を実現することが、知事としての私の使命であると確信しております。

このため、現在策定を進めております次期総合計画においても、このような考え方にたって〝とちぎ〟のビジョンを描き、経済・雇用対策はもとより、本県産業全体の活性化に取り組むとともに、豊かな資源を活かした観光立県に努めるなど、各種施策を計画的かつ戦略的に展開して参りたいと考えております。

本県におきましては、足利銀行の一時国有化に伴う県内経済の活性化等、県民生活に大きな影響を及ぼす課題への対応が強く求められております。私は、新しい時代を創っていくという強い決意と未来への確固たる展望を持ち、二〇〇万県民の皆様と手を携えて、この難局を乗り越えて参りたいと考えておりますので、県民の皆様の更なる御理解となお一層の御支援をお願い申し上げます。

年の初めに当たり、私の所信を申し上げますとともに、平成十七年が商工会議所会員の皆様にとって健やかで幸多き年となりますことを心からお祈り申し上げまして、新年のごあいさつといたします。



足利商工会議所
会頭　板橋敏雄

輝かしい新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

さて、わが国全般の景気は回復基調を維持していると言われておりますが、未だデフレは解消されておりません。このような中、足利商工会議所に課せられた最重点課題は、本部会館を中心街の足利銀行発祥の旧本店へ移転し、商工会議所が身を挺してまちなか再生に取り組むことを決断致したことであります。

中心市街地の空洞化、活性化対策を検討するため「日本商工会議所まちづくり特別委員会」が設置され、私がその委員長に推され多面的、専門的に検討して行くことになりました。市民と行政と商工会議所が一丸となり、熱意をもってこの難題に挑戦して行きたいと思います。

桐生商工会議所
会頭　佐藤富三

明るい新年をお迎えになられたことと心よりお慶び申し上げます。

会議所根幹の事業であります政策提言活動は、本年も真に地域や事業者の声を集約し、より良き地域づくりに向けて積極的に取り組んで参る所存であります。ファッションタウンの活動も広範にわたり推進しておりますが、現在、国の都市再生事業としてノコギリ屋根工場の保存・活用に向けての調査を行っております。この成果を生活文化創造都市、都市観光の推進に寄与出来るよう力を注いでいきたいと存じます。また、産学官の連携や創業支援、事務局機能の強化、会員への様々な情報提供などを行い、信頼される商工会議所を確立していきたいと考えております。

太田商工会議所
会頭　荻原栄一

健やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

太田商工会議所では、商業者の力を結集して「東武鉄道高架下利用検討分科会」「太田市の顔（シンボル）策定分科会」「借上市営住宅建設促進分科会」の三分科会を立ち上げ、中心商店街の活性化に本格的に取り組んでいます。

工業においても東毛産業技術センターの有効利用をはかるため「利用促進委員会」を発足、企業にとって必要な設備の導入を要望いたしました。

また、今年は合併の年でもあります。来たる三月二十八日新田町、尾島町、藪塚本町との合併で人口は二十一万七千人となり広域的な経済圏が誕生、太田市の更なる飛躍・発展のため努力していく所存です。

館林商工会議所
会頭　河本榮一

昨年十一月任期満了に伴う議員改選にあたって、新会頭に選任されました。

希有の困難な時代にあって、地域総合経済団体である商工会議所に課せられた使命は一層重きをましております。とくに中心街の活性化と工業・商業観光都市としてバランスの取れた「街づくり」を視野に入れ、少子高齢化・環境問題・情報収集・情報公開の四点を切り口に地域産業発展の原動力となる商工会議所を目指し、財政基盤の確立と組織の充実を図るべく、活発な事業を推進してまいりたいと存じます。

皆様の一層のご支援・ご協力を心からお願い申しあげますとともに、皆様方のご健勝とご活躍をご祈念申しあげ、年頭の挨拶といたします。

謹賀新年

佐野商工会議所
役員・議員一同

役職	氏名
会頭	亀田好二
副会頭	島田嘉内
〃	平岩壮夫
〃	落合喜行
〃	矢島堅司
専務理事	熊倉章夫
常議員	笠原泰
〃	川崎三代次
〃	小倉義人
〃	篠崎良三
〃	太田哲夫
〃	栗原康男
〃	田澤眞人
〃	岡村誠容
〃	上岡一雄
〃	篠崎勝宏
〃	篠崎博司
〃	磯野信次郎
〃	栗田重雄
〃	柳澤隼人
〃	米澤元嗣
〃	菊池義明
〃	蓼沼正道
〃	増田宣二
〃	三井福次郎
〃	森新一
〃	蓼沼恒男
〃	石川悦子
〃	土屋善雄
〃	水戸部基
〃	小林秀明
〃	柳橋公明
監事	島津幸道
〃	嶋田誠一
〃	金子幹雄
議員	山中清
〃	石川重男
〃	阿部弘志
〃	椎名竹一
〃	山崎金成
〃	木村清武
議員	米田司
〃	二渡一實
〃	唐澤重信
〃	神崎英興
〃	石井克雄
〃	筒井雅之
〃	田村初男
〃	松丸宏
〃	原勝彦
〃	小野憲一
〃	安藤有一
〃	渋谷陽一
〃	白澤幸治
〃	松本静夫
〃	二渡孝夫
〃	石倉孝夫
〃	天海聖三
〃	吉澤浅一
〃	藤波一博
〃	加藤幹章
〃	金子重雄
〃	横井孝
〃	吉川良雄
〃	早川一彦
〃	亀田宏文
〃	橋本文男
〃	大島啓司
〃	福田紳一
〃	三好仁
〃	小川洋
〃	蛭川寿彦
〃	井川克彦
〃	恩田勉
〃	藤沼邦男
〃	亀山滋
〃	茂呂純一
〃	兵藤勇
〃	内山隆司
〃	菊澤洋之
〃	長岡信介